

令和4年度 練馬区国際交流・多文化共生事業推進連絡会 要点記録

1 開催日時

令和4年11月16日（水）15時30分 ～ 16時30分

2 会場

練馬区役所 19階 1903会議室

3 出席者

ボランティア日本語教室等 18名、地域振興課長、国際・都市交流課長、

※ 説明者および説明補助

国際・都市交流課国際・都市交流担当係 1名、

防災計画課防災計画係 3名、地域振興課事業推進係 2名

4 事務局

地域振興課

5 配布資料

資料1 外国人の方の震災対策について (防災計画課)

資料2 令和3年度 国際交流事業実施結果 (国際・都市交流課)

資料3 令和4年度 国際交流事業（予定） (国際・都市交流課)

資料4 令和3年度 多文化共生事業実施結果 (地域振興課)

資料5 令和4年度 多文化共生事業（予定） (地域振興課)

6 内容

次第に沿って以下のとおり進行

(1) 開会（各委員自己紹介）

各委員が所属および氏名を紹介した。

(2) 外国人の方の震災対策について（資料1）

資料に基づき説明を行い、つぎのとおり質問および回答があった。

【委員】

日本に初めて来られる外国人の方に対して、練馬区民のオリエンテーションコースというものを開催するという事は難しいか。

いわゆる社会的な生活を日本に来て送る上で、必要な知識であるとか、防災、救急、消防、警察関係など、基本的なことを習うコースを定期的で開催すると役に立つのではないかと思う。日本の社会のしくみをオリエンテーションという形で開催するというものがあると良い。

【地域振興課】

オリエンテーションについて、川崎市で実際にオリエンテーションを開催している。なかなか参加者が集まらなないと聞いている。

練馬区としても転入の際に、ごみの分別の多言語の表などを配布している。効果的にお知らせできるように努める。

【地域振興課長】

オリエンテーションに関して、大家さんがごみの分別でご苦労されたり、何かあった際に地域でお世話をしてくださったりしているところもあるかと思う。そういったところの情報共有をするチャンネルを区としても工夫していく。

【委員】

今のお話に関連して、わざわざ物理的に集まるのではなく、みんなスマホをお持ちなので、例えばEラーニング形式で周知するというのを練馬区あるいは東京都と行うのが良いのではないか。スマホであればいつでもどこでも好きにできる。

【地域振興課長】

外国の方はほとんどスマホで情報を得ていて、ネットワークもあるので、それが最も現実的なアプローチの仕方であるかもしれない。

【委員】

情報の載せ方も、〇×でどれが正しいかわかるようにするなど。

【地域振興課】

区でも「がいこくの一とむけホームページ」を作成しており、暮らしに関わる防災の手引やごみなど基本的なことについて、多言語の冊子をまとめて掲載している。クイズ形式等は面白い工夫であると思う。

【委員】

冊子を全部読むのは大変だと思う。

【委員】

ボランティア日本語教室で日本語を教えている。また、石神井の消防団にも所属をしている。以前、1回やらなければいけないと思い、区にお願いして、区役所の19階から下まで降りたり、防災の知識を教えてもらったりした。そういったものを各教室に行くのが良い。問題は、時間がかかってしまうことである。例えば、5分～10分で良いので、小さなチラシのようなものを見てもらうミニ講座などを各教室に行くことで、効率良くできるのではないか。

【地域振興課長】

二次元コードなどをお配りして、それを目にさせていただくだけでも良いかもしれない。

【防災計画課】

周知・啓発がポイントであると考えている。引き続き工夫していく。

(3) 国際交流事業について（資料2・3）

資料に基づき説明を行った。（質問：特になし）

(4) 多文化共生事業について（資料4・5）

資料に基づき説明を行った。（質問：特になし）

(5) その他

つぎのとおり質問および回答があった。

【委員】

1つ問題がある。マイナンバーカードのことについて、今まではマイナンバー通知カードがあったが、令和2年5月22日改正で廃止された。新規にコロナ禍にきた留学生などは、通知カードがないので、使い方をどうすれば良いのかが分からず非常に困っている。マイナンバーのことについて詳しく書いたものがあまりない。地域の外国人はその情報を全く知らない状況である。区ではないと思うが、いずれにしても取扱いの情報をきちんと発信しないと、例えばアルバイトをする際など、使えるかどうかもわからない。留学生に対して、マイナンバーについて周知徹底する必要がある。今、非常に困っている。

【地域振興課長】

新型コロナの影響で一旦は減ったが、区内にも留学される方が戻ってきているので、マイナンバーカードを担当する戸籍住民課、また総務省、法務省に確認をして、分かる情報があれば区としてもお知らせするよう早急

に調整していく。

【委員】

在留カードで住民登録される際に、マイナンバーカードの話は出てくると思う。その時点で、紙で渡すだけでも随分違うと思われる。

【地域振興課長】

法務省へのプッシュもしながら、知り得た情報は皆様に共有していく。

【委員】

土曜日の午前中のボランティア日本語教室で活動している。こども日本語教室について伺いたい。父兄の方が当教室に来てくださるが、子どもたちの待機が多いと聞いている。なかなかコロナで場所が少ないのかと思うが、大人の日本語教室も大事ではあるが、子どもの日本語教室もこれからの日本にとって大事だと思う。こども日本語教室を増設する予定はないのか。

【地域振興課】

昨年度までは新型コロナの影響により、部屋の定員が50%以下などの制限があり、人数を絞っていた。しかしご存知のとおり、今年の春以降、入国制限緩和されたことにより、かなり子どもも増えてきている。ボランティアの方々と相談をし、徐々に受け入れるように取り組んでいる。一気に受け入れると、ボランティアの方とのマッチングがうまくいかないこともあるので、徐々に入れていくよう取り組んでいく。

【委員】

たまたま近所の公立小中学校の先生方と話をする機会が定期的にある。その中で皆さんがおっしゃっていたのは、外国人の方が増えてきた。本当に日本語が分からない子どもたちが入ってきて、そのサポートをしてくれる人が1週間に2回だけ来てくれるだけであると。想像するとお分かりいただけるかと思うが、いきなり全員アラビア語しか話せないところに行くと、1週間学校で朝から晩までアラビア語を聞いていたら、子どもたちにとっては拷問である。先生たちもすごく困っていて、子どもにとっては学習が身につかない、なんとかできないかという話を聞いた。なんとかしていただきたい。

【地域振興課長】

教育委員会の教育指導課と学務課が担当している。今、お話いただいたようなご意見や、地域の実態について、何かあれば情報提供いただければ、個別の対応もかなう場合がある。

以 上